

「第18回 クリーンパーク折居連絡協議会」会議概要

1 日 時 令和8年6月28日（日）10時～11時

2 場 所 クリーンパーク折居2階大会議室

3 出席者

自治会・町内会（5名）

城南衛生管理組合（7名）、城南環境テクノロジー（株）（2名）

4 内 容

（1）クリーンパーク折居にて発生した電気事故の事故原因、経過、対応及び再発防止策（案）について報告した。

（2）クリーンパーク折居の稼働状況等における、令和7年度の搬入・処理量、発電・売電量、排ガス、騒音・振動測定の結果及び放流水の水質測定結果等を報告した。

（3）その他

環境ふれあいひろば開催中の企画展「プラスチックごみの旅」について紹介した。

（主な意見）

ア. 事故が発生した際の連絡方法について、速達性のある SNS を活用して連絡することを検討してはどうでしょうか。

⇒SNS の活用を含め、どのような方法で連絡するのがよいか検討いたします。

イ. なぜアースを外し忘れるという事態になったのか教えていただけないでしょうか。

⇒作業の中で、誰が行い、誰が確認するという共通認識が抜けていたことに加え、電気を接続させる前に複数での再確認が出来ていなかった点が事故に繋がったと考えられます。

ウ. プラスチック類の組成調査について、内訳などの分析をしているのでしょうか。

⇒組合では、組成調査を実施できていませんが、排出先が実施するプラスチック組成調査が終わりましたので、今後、容器包装プラと製品プラの割合などについてご報告させていただけるかと考えています。

エ. プラごみの一括回収が始まりましたが、基準を超えるプラスチックごみはプラスチック資源として回収することは難しいでしょうか。

⇒ごみの排出基準を設けており、基準を超える場合はもえないごみとして出していただく必要があります。しかしながら、今後もより多くのプラスチックごみをリサイクルできるように努めてまいります。

オ. 公道のごみ拾いを行い、宇治市の担当課に確認して、もえないごみとして出しましたが、回収されませんでした。再度連絡をしたら回収されましたが、どうすればよかったのでしょうか。

⇒判断が難しい事例と思われます。今回いただいた意見について、宇治市の担当課と共有します。